

科目名	成人看護学演習 I (急性) Adult Nursing Seminar I		担当教員 (研究室番号)	玉田 章 (307) 脇坂 浩 (306) 関根 由紀 (504)		教員への連絡方法 (メールアドレス)							
履修年次	1年次前期	科目区分	専門科目	選択区分		領域必修		単位数(時間)	3(45)	授業形態	演習	科目等履修生	否
科目目的	生命の危機的状態にある成人期の患者および家族の緊急事態に対応する効果的な看護援助を提供するための方法・課題を文献的学習により探究し、患者および家族の健康問題を解決するための看護実践能力を養成する。												
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 救急患者ならびに初療外来における症状発見のための観察ポイントを理解することができる。 救急患者ならびに初療外来におけるアセスメントポイントを理解できる。 成人患者の看護過程の展開から看護学への教育方法の実践につなげることができる。 侵襲の大きい治療や外因性疾患による問題とその具体的援助について理解することができる。 成人看護学特論や救急疾患看護に関する文献検討から自己の研究テーマの明確化につなげる。 												
成績評価方法(基準)	プレゼンテーション (60%)、レポート (40%)												
教科書	特に指定しない。												
参考書等	救急看護QUESTION BOX 2 救急実践に生きるアセスメント, 中山書店, 2006. 外傷初期看護ガイドラインJINTEC, へるす出版, 2010.												
受講者へのメッセージ													
備考	課題については、説明資料として作成し提出すること。これをレポートとして評価する。												
回	学習項目			学習内容				主担当教員	授業方法				
1回	救急患者のフィジカルアセスメント 情報の取り方と活かし方			救急患者の情報収集の方法 トリアージのための情報収集				玉田	演習				
2回	救急患者のフィジカルアセスメント 系統的アセスメントと重点的アセスメントの違い			救急患者および家族に関する情報のアセスメントでのポイント				玉田	演習				
3回	初療外来における症状発見とアセスメント 急変・救急時の観察①			患者が急変した場合や救急外来で患者を受け入れた時の観察のポイント				脇坂	演習				
4回	初療外来における症状発見とアセスメント 急変・救急時の観察②			急変した患者や救急外来で受け入れた患者の観察情報からのアセスメントの概要				脇坂	演習				
5回	初療外来における症状発見とアセスメント 意識障害の観察①			意識障害の原因と特徴				脇坂	演習				
6回	初療外来における症状発見とアセスメント 意識障害の観察②			意識障害の評価と看護の方向性				脇坂	演習				
7回	初療外来における症状発見とアセスメント 呼吸器系の観察①			重症・危篤患者の呼吸器系の観察ポイント				脇坂	演習				
8回	初療外来における症状発見とアセスメント 呼吸器系の観察②			モデル人形による重症・危篤患者の呼吸器系の観察演習 (次回課題：人工心肺を用いた開心術の問題と看護)				脇坂	演習				
9回	侵襲の大きい治療による患者看護① 人工心肺を用いた開心術後の問題と看護			課題としたon-pumpでの開心術後の問題について発表し、その看護について検討する。 (次回課題：大動脈バルーンポンピング実施患者の問題と看護)				関根	演習				
10回	侵襲の大きい治療による患者看護② 大動脈バルーンポンピング実施患者の問題と看護			課題とした開心術後に大動脈バルーンポンピングを実施している患者の問題について発表し、その看護について検討する。 (次回課題：人工呼吸器装着患者の問題と看護)				関根	演習				
11回	侵襲の大きい治療による患者看護③ 人工呼吸器装着患者の問題と看護			課題とした人工呼吸器装着患者の問題について発表し、その看護について検討する。 (次回課題：血液浄化療法と看護)				玉田	演習				
12回	侵襲の大きい治療による患者看護④ 血液浄化療法と看護			課題とした血液浄化療法について発表し、その看護について検討する。 (次回課題：重症熱傷患者への治療と看護)				玉田	演習				
13回	外因性疾患患者の看護① 重度熱傷患者の援助方法			課題とした重症熱傷患者への治療や問題について発表し、その看護について検討する。 (次回課題：外傷患者への治療と看護)				脇坂	演習				
14回	外因性疾患患者の看護② 外傷患者への治療と看護			課題とした外傷患者への治療や問題について発表し、その看護について検討する。 (次回課題：術後無気肺の予防に関する文献検討①)				脇坂	演習				
15回	術後無気肺予防の看護①			術後無気肺予防について取り扱った文献を抄読し、その看護について検討する。 (次回課題：術後無気肺の予防に関する文献検討②)				玉田	演習				

回	学習項目	学習内容	主担当 教員	授業 方法
16回	術後無気肺予防の看護②	術後無気肺予防について取り扱った文献を抄読し、その看護について検討する。 (次回課題：換気機能測定について)	玉田	演習
17回	呼吸機能の測定① 換気機能測定について	課題とした換気機能測定について発表し、その測定を実施する。 (次回課題：呼吸筋力測定について)	玉田	演習
18回	呼吸機能の測定② 呼吸筋力測定について	課題とした呼吸筋力測定について発表し、その測定を実施する。 (次回課題：呼吸抵抗測定について)	玉田	演習
19回	呼吸機能の測定① 呼吸抵抗測定について	課題とした呼吸抵抗測定について発表し、その測定を実施する。 (次回課題：術後無気肺の予防に関する文献検討③)	玉田	演習
20回	術後無気肺予防の看護③	課題とした術後無気肺予防について取り扱った文献を抄読し、その看護について検討する。 (次回課題：術後無気肺の予防に関する文献検討④)	玉田	演習
21回	術後無気肺予防の看護④	課題とした術後無気肺予防について取り扱った文献を抄読し、その看護について検討する。	玉田	演習
22回	研究計画報告①	現時点での研究計画を発表し、他者からの意見を計画にフィードバックする。	玉田他	演習
23回	研究計画報告②	現時点での研究計画を発表し、他者からの意見を計画にフィードバックする。	玉田他	演習